



はつらつ 通信



Vol. 122
2014.3.1

●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院

●編集 はつらつ通信局

在宅療養支援病院

在宅訪問診療を当院で

札幌ライラック病院では、自宅で療養されている高齢者を医師が訪問して診療する機能を、サテライトのラベンダー在宅診療クリニックが担っていました。医師と看護師が定期的に伺うほか、医師が24時間365日体制で体調急変などに対応し、必要があれば夜中でも往診し、終末期の看取りも行ってきました。

この3月、当院は同クリニックを吸収し、訪問診療の機能を持つ在宅療養支援病院となりました。併せて、在宅サービスを受け待っていた総合支援センターらいらっくの職員配置を見直し、患者さまやご家族の安心感をより一層高める体制づくりを図りました。

この春からは新体制で

統合により、同クリニックの平井修二院長は当院の在宅担当副院長に就任。看護師など同クリニックのスタッフは、総合支援センターらいらっく内に新設された在宅診療部に配属されました。

組織は変わりましたが、訪問診療自体はこれまでとまったく変わらず行っています。今号では、同クリニックを当院に統合した意味と、患者さまにとってのプラス面を、本庄恭補院長に聞きます。



機能的につなぐ体制づくりで その安心感を

在宅診療の機能を 診療所から病院へ

医師が24時間・365日体制で在宅の患者さまを診る医療機関には、病床を持たない在宅療養支援診療所と、入院病棟のある在宅療養支援病棟の2種類があります。ラベンダー在宅診療クリニックが開設した5年前の平成21年当時、在宅療養支援病院になるために、病院の半径4km以内で在宅診療所が稼働していないことという条件があり、4km圏内に在宅療養支援診療所があった当院は、別なエリアにサテライトとして在宅療養支援診療所を開設する選択をしました。

現在、この条件は緩和され、200床以下の病院であれば、在宅支援病院として届け出ができるようになり



平井修二副院長

支援体制の確立で 訪問診療に安心感

ました。病床数167床の当院は、サテライト診療所との統合準備を進め、今年3月から在宅療養支援病院として訪問診療を行っています。

「平井先生は毎月のべ400人以上の患者さまを診ていて、先生が体調を崩すなどで訪問できないときは、当院の医師がサポートしていています。これからは平井先生が院内にい



訪問診療に向かう平井副院長



るので、医師同士の情報共有や他部門との連携もぐっとスムーズになると思っています」と本庄恭補院長。訪問診

札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

1. 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
2. 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
3. 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
4. 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
5. 院内では常識的な社会人として行動して下さるようお願いいたします。
6. 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
7. 札幌ライラック病院では、各階に意見箱を設置しています。ご意見やご希望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。

多様な医療サービスを 病院だから



本庄 恭補 院長

療の患者さまが入院したとき、主治医の平井先生は入院先に向向いていましたが、在宅療養支援病院であれば主治医は入院先の医師でもあり、診療の継続性の面でもよりご安心いただけます。

「提供している訪問診療そのものは、内容、金銭的負担とも全く違いはありませんが、在宅療養診療を受け持つ平井先生が当院内部にいることは、さまざまな面でサービスの安心感を向上させます」と本庄院長は容易になるのももちろん、カルテが同じになった意味は大きいですね」とコメントを語ります。

総合支援センターの 機能強化でさらに安心

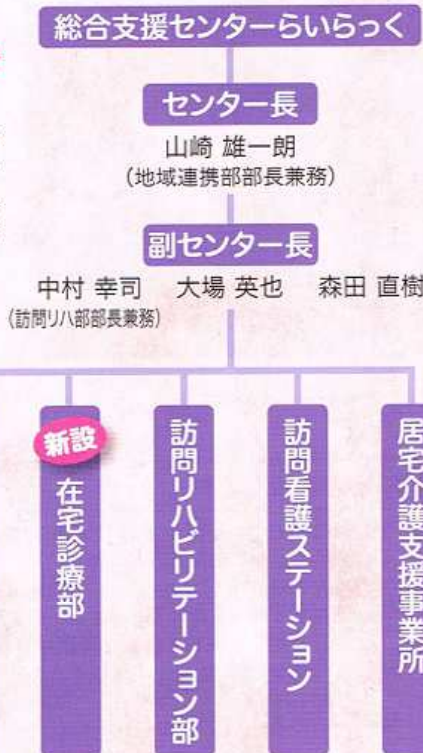
ラベンダー在宅診療クリニックの職員は、総合支援センターらいらっく内に新設された在宅診療部に配属されました。これを機に総合支援センターの組織も改編し、センターの各部門で立てた目標をセンター全体を統括する視点で検証できるよう、センター長と副センター長のポストを新設し、在宅サービスの経験豊かな職員

員を配置しました。

「総合支援センターは、当院の在宅サービス機能が集約された部門。訪問診療という新機能が加わることでサービスが充実し、地域の方々をサポートする力も増すことでしょう。将来的には近隣の在宅療養支援診療所とも連携し、地域の中核的役割を担えればと、本庄院長は地域に根差した当院のあるべき姿を考え続けています。

3月から 新しい体制で スタート

3月1日付けで、総合支援センターらいらっくの組織改編をはじめ、職員の異動を行いました。



医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、より良い医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一. 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二. 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三. 職員は、責任と誇りを持ち、日々創意工夫し、専門職としての使命を果たします。
- 四. 在宅ケアと医療が連携し、チームとして地域住民の健康・保健・福祉に貢献します。



今年もやりました。デイケア恒例、節分の豆まき 鬼に豆打ち、厄除け・招福祈願



レクを兼ねた 豆まきで鬼退治

今年の節分は2月3日(月)。デイケアのレクリエーションでは、恒例の豆まきが行われました。季節を感じる歳時の行事は、多くのご利用者さまに楽しんでいただけるよう、数日にわたり実施していますが、節分は毎年2月3日に通所されたご利用者さま



鬼はそこー！
福はうちー！

けで行われます。今年は月曜にいらした38名が豆まきに参加されました。

まず最初は、シートに開けた穴に玉入れて使う紅白のボールを投げ入れて、点数を競うゲームでスタート。鬼に扮した職員が穴にボールが入るのを邪魔をするので、鬼にもボールをぶつける必要があります。これで、豆まきのウォーミングアップは完了です。

そして、いよいよ本番。「鬼はそこー！」「福はうちー！」。ご利用者さまが金棒を持った鬼に向かって、小分けされた豆入り小袋を投げました。金棒は、職員がタマゴのプラスチック製パッケージとラップの芯で数年前に制作し、毎年使っているアイデア小道具です。

また豆菓子は午後のお茶タイムのおやつになるので、ご利用者さまの好みにそったセレクトです。「甘納豆が好評なんですよ」と中田理香ケアワーカー。鬼が逃げていった後、それらを拾い集め、皆さんでおいしくいただきました。



季節を感じる 昼食は恵方巻き

当日は昼食も節分仕様の恵方巻きでした。朝のうちにご利用者さまお一人おひとりに食べやすい、希望された方には食べやすいように切り分けたものをお出ししました。

デイケアをご利用されて数カ月の方も、満面の笑顔で楽しまれた豆まき。来年は火曜に通所される方の番です。お楽しみに。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

受付時間

平日 9:00~12:30 13:30~17:00
土曜 9:00~12:00 午後休診

※但し急患の方は上記に問わず随時受付いたします。

面会時間 14:00~20:00

ホームページ <http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会

札幌ライラック病院 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

TEL(011)812-8822

デイケアの ボランティアさん募集中!

こんな活動をしてみませんか?

- ①お茶出しや食事の配膳の手伝い、お話し相手
- ②書道や絵手紙など趣味活動の講師役、特技の発表

活動時間 ①9:30~12:30 ②14:00~15:00

お問い合わせはデイケア・中田まで